

第2章 尾道市の概況

1 位置と沿革

本市は、瀬戸内のほぼ中央、広島県の東南部に位置します。市域の面積は285.11km²であり、大半が山地で、島しょ部は概して急峻で平地に乏しく、平地は尾道水道・御調川沿い・島しょ部の海岸沿いに形成されています。

北部は、豊かな緑に囲まれ、南部は、独特の多島美を有しており、山地、丘陵と海・島が織りなす多様で多彩な景観が本市の特徴となっています。

自然の良港を持つ尾道は、平安時代以来、対明貿易船や北前船、内海航行船の寄港地として、中世・近世を通じて繁栄をとげました。港町・商都としての発展は各時代に豪商を生み、多くの神社仏閣の寄進造営が行われました。

現在では、山陽自動車道、瀬戸内しまなみ海道に加え、平成27年（2015年）3月に全線開通した中国やまなみ街道により、広域拠点としての機能は高まり、まさに「瀬戸内の十字路」としての発展が大いに期待される都市です。



本市の位置図

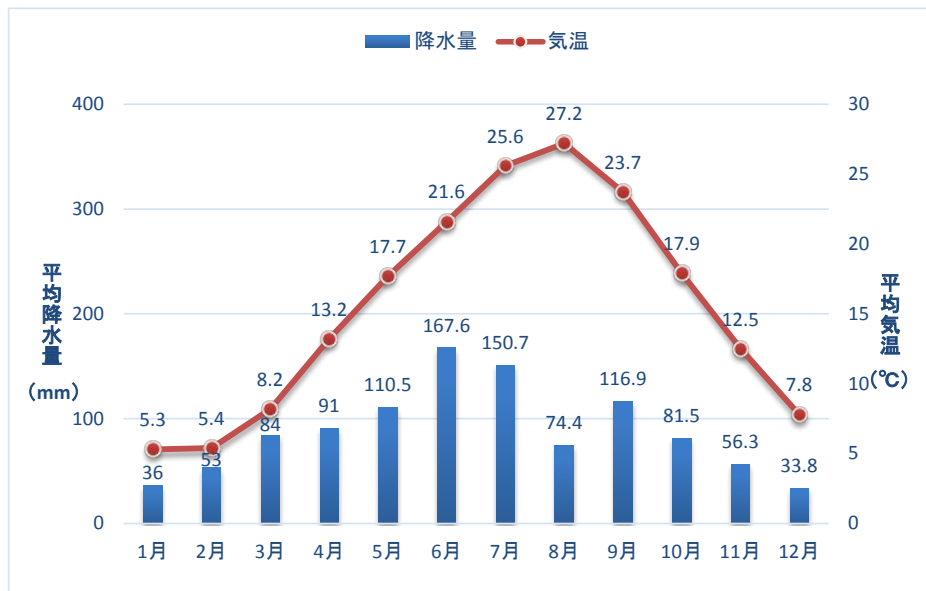
2 自然的条件

(1) 気象

気候は温暖で降雨量が比較的少ない瀬戸内型に属しますが、内陸部は温度較差がやや大きい山間部の特性を示しています。

夏の季節風は四国山地に、冬の季節風は中国山地によって遮られるため年間を通じて天候が安定しており、降水月が5、6、7月（梅雨時）と9月（秋雨・台風時）の二峰性となっており、二峰の間の8月（盛夏）の降水量が著しく少なくなります。

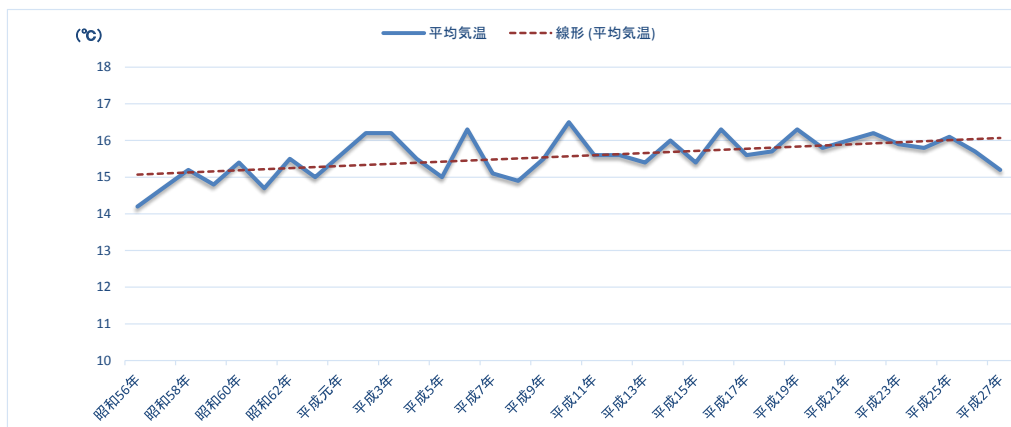
昭和56年（1981年）からの平均気温の推移を見ると、わずかながら上昇傾向が見られます。



気温・降水量の月別平年値

資料: 気象庁生口島観測所

※平年値の統計期間は1981年から2010年の30年間



気温の年平均値推移

資料: 気象庁生口島観測所

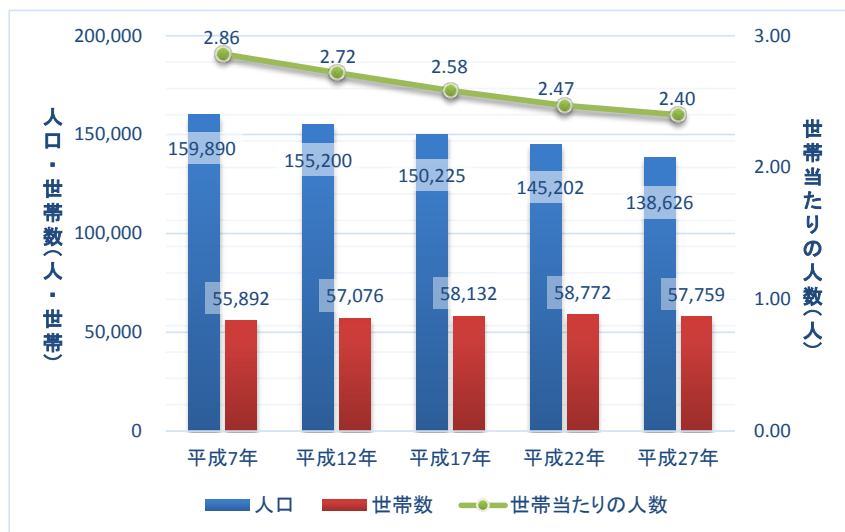
3 社会的条件

(1) 人口・世帯数

人口は、減少が続いています。平成 27 年（2015 年）は、平成 7 年（1995 年）比 86.7%となっています。

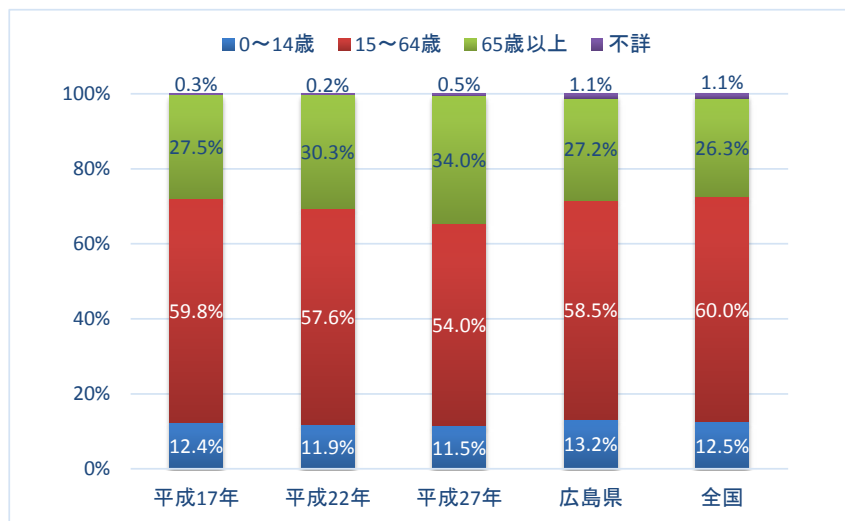
平成 22 年（2010 年）までは、世帯当たり人数の減少と世帯数の増加という核家族化の傾向が見られましたが、平成 27 年（2015 年）では、世帯当たり人数の減少とともに世帯数も減少に転じています。

年齢3区分構成比の推移では、本市においても少子・高齢化が進んでおり、平成 27 年（2015 年）の高齢化率は、全国を大きく上回る 34.0%となっています。



人口・世帯数の推移

資料：国勢調査



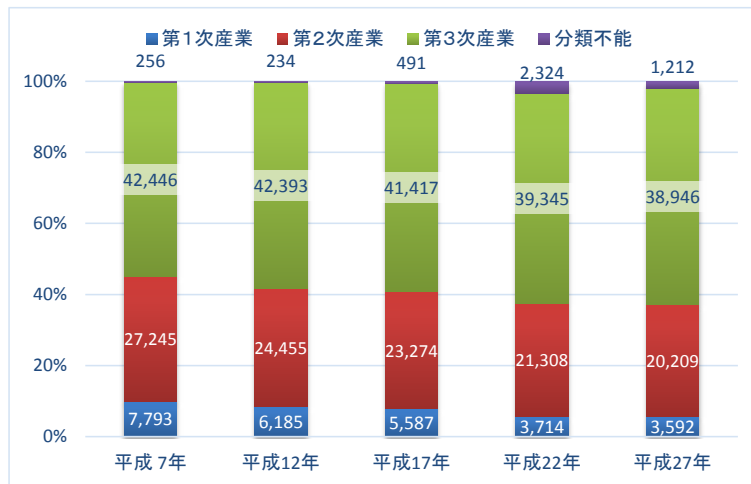
年齢3区分構成比の推移及び国・県との比較

資料：国勢調査

(2) 産業

①産業別就業者数

産業別就業者数は、第1次産業及び第2次産業の就業者数の減少、第3次産業の就業者比率の増加傾向が継続しています。



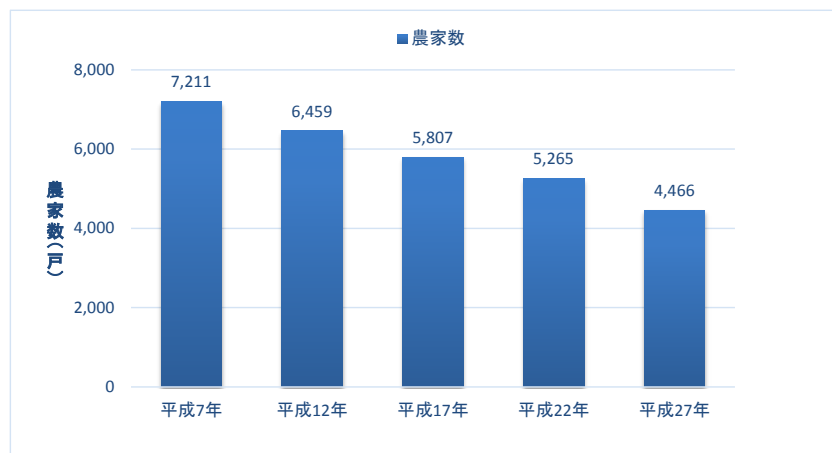
産業3区分就業者数比率

資料: 国勢調査

※グラフ中の数値の単位は人

②農家数

農家数は減少傾向が続いており、平成27年(2015年)は、平成7年(1995年)比で61.9%にまで減少しています。

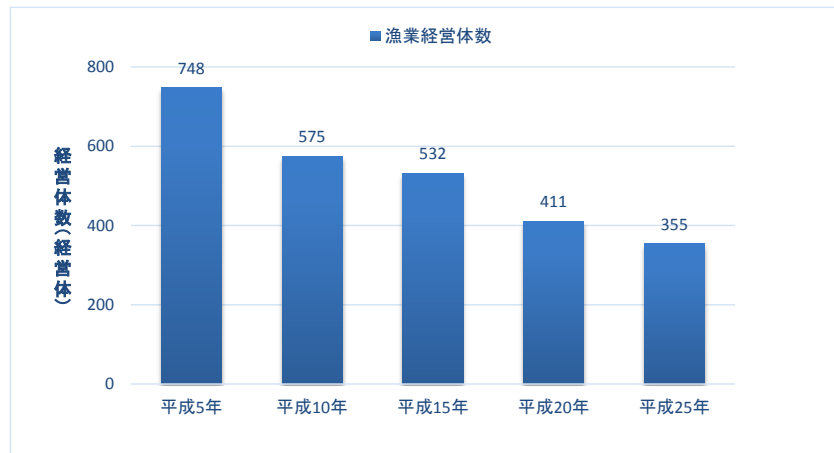


農家数の推移

資料: 農林業センサス

③漁業経営体数

漁業経営体数は減少傾向が続いており、平成25年（2013年）は、平成5年（1993年）比で47.5%と大きく減少しています。



資料: 漁業センサス

漁業経営体数の推移

④森林面積

森林面積は 14,105ha で、市域面積の 49.5%を占めています。

森林の面積

単位: ha

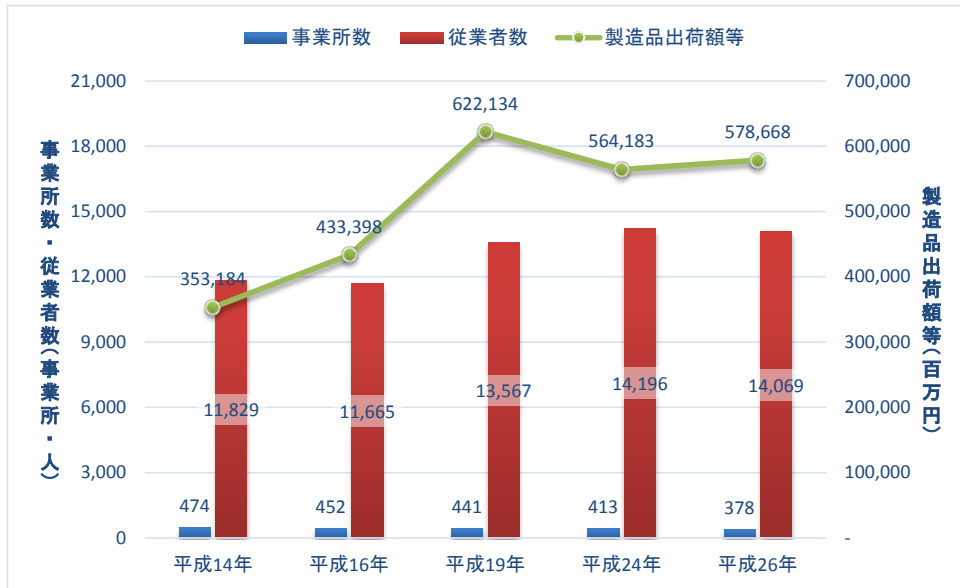
年	総数	民有林*							国有林	
		総数	人工林		天然林		竹林	※ 無立木地		※ 更新困難地
			針葉樹	広葉樹	針葉樹	広葉樹				
平成27年	14,105	14,081	1,339	233	8,956	3,123	64	330	37	23

※数値は、端数処理のため計は一致しない。
 ※民有林には地方公共団体所有の山林を含む。
 ※無立木地: 伐採跡地及び未立木地である。
 ※更新困難地: 植栽が可能であるが通常の生育が期待できない土地(岩石地、過湿地、風衝地等)のこと。

資料: 広島県林務関係行政資料平成28年度版
 広島県統計年鑑

⑤工業

工業は、事業所数は減少しているものの、従業者数、製造品出荷額等は、平成14年(2002年)以降の10年間で大きく増加してきました。

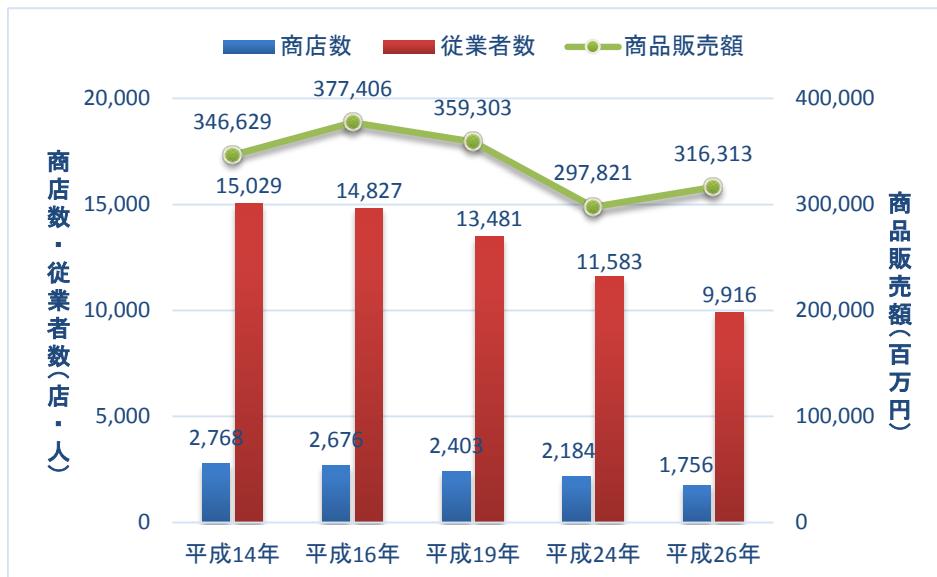


資料:工業統計調査
経済センサス

工業の推移

⑥商業

商業では、商店数、従業者数の減少傾向が続いています。平成26年(2014年)は、平成14年(2002年)比で、商店数が63.4%、従業者数が66.0%と大きく減少しています。



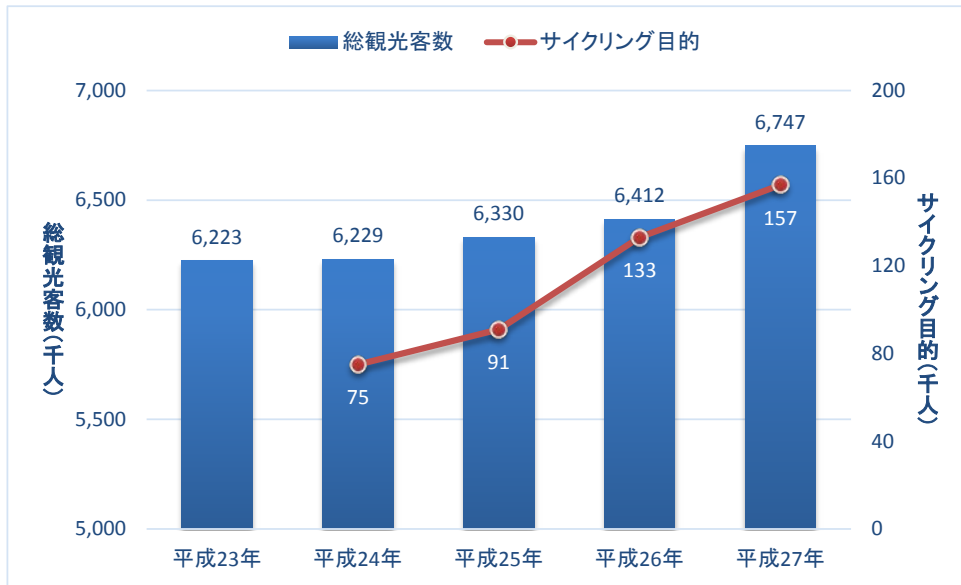
資料:商業統計調査
経済センサス

商業の推移

⑦観光

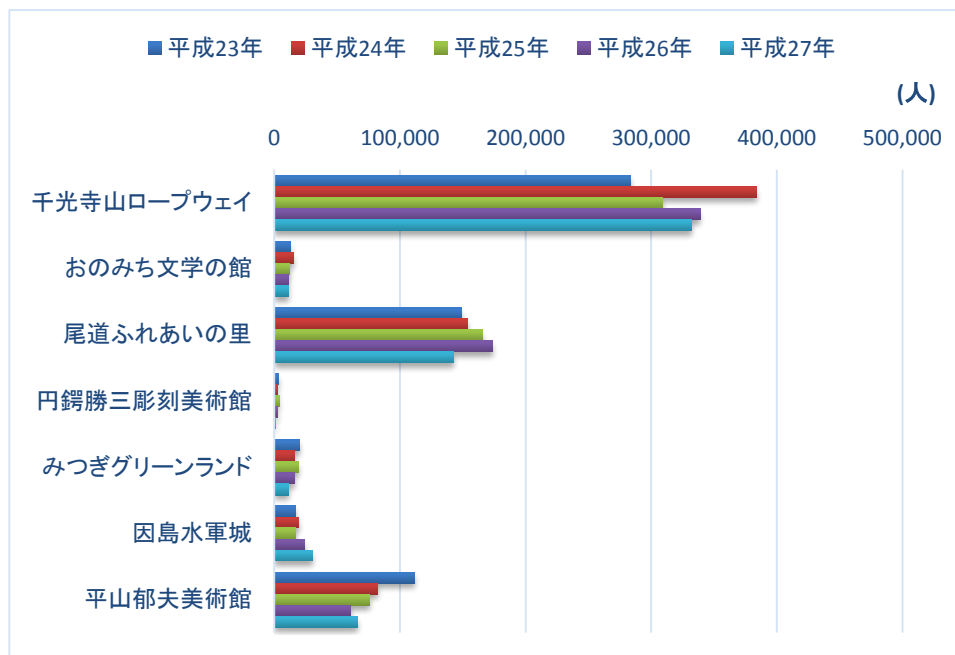
総観光客数は、増加が続いており、特に平成27年（2015年）は、前年から33万5千人の増加で、大きな伸びを示しています。中国やまなみ街道の全線開通や日本遺産認定などの効果が考えられます。

また、瀬戸内しまなみ海道の自転車無料化に加え、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）などでの認知度向上により、国内外問わず、サイクリストの増加が顕著です。



観光入込客の推移

資料: 広島県観光動態調査
サイクリングの区分は平成24年より

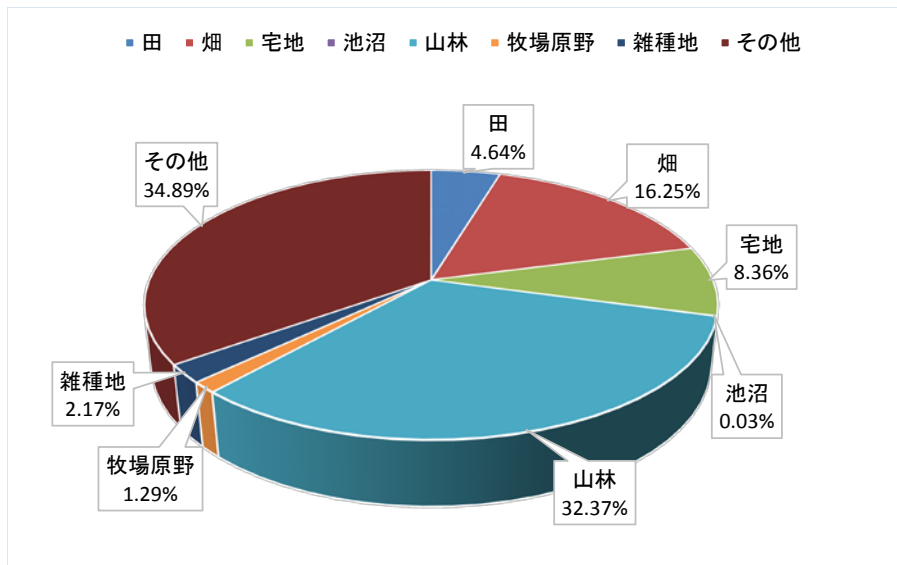


主な観光施設別観光客の推移

資料: 広島県観光動態調査

(3) 土地利用

本市域の面積 285.11km²の利用状況は、田・畑（農地）が 20.9%、宅地 8.4%、山林 32.4%などとなっています。



土地利用別面積比率

資料:尾道市資産税課



尾道市街地と千光寺ロープウェイ